

## 文教常任委員会記録

### 1. 開催日時

令和元年 12 月 10 日（火） 午前 9 時 59 分開議～午前 10 時 56 分散会

### 2. 場所

第 3 委員会室

### 3. 出席委員

委員長	安東 房吉	副委員長	松本 充浩
委員	小野 仁志	委員	安部 剛祐
委員	永松 弘基	委員	馬見塚 剛
委員	スカルリーパー・エイジ	委員	大石 祥一
委員	今山 裕之		

欠席委員

なし

#### ○安東委員長

それでは日程に従いまして、陳情の審査を行います。

初めに、継続審査中となっております平成 29 年陳情第 17 号、大分市への科学館設置の関する陳情、平成 30 年陳情第 7 号、大分市に総合的な科学館設立を求める陳情についてです。

これらの 2 件の陳情につきましては関連がありますので、質疑まで一括して行い、討論、採決については 1 件ずつ行ってまいります。執行部のほうで補足説明等があればお願いいたします。

#### ○永田社会教育課長

第 3 回定例会文教常任委員会において資料請求がございました、中核市における科学館の設置状況等について、各市に照会した結果をまとめていますので御報告いたします。

補足説明資料ナンバー 1 をごらんください。

中核市 58 市のうち、大分市を含む 30 市が科学館を設置しており、28 市は設置をいたしておりません。また、設置をしていない未設置の市を薄いピンク色で網かけしておりますが、そのうち同一県内に公立の科学館が存在しない中核市は那覇市だけとなっております。少なくとも沖縄県を除く各都道府県に、いずれかの分野の科学館が設置されております。

次に、資料ナンバー 2 に各市の回答結果をまとめておりますので、ごらんください。

9 項目について整理いたしております。1、開設年度。4 割の施設が昭和 40 年代後半から 60 年代につくられております。

また、項目 2 にあります延床面積は、平均で約 4,000 平方メートルとなっており、その建設費総額は、平均で約 24 億円となっております。

4 及び 5、運営費の収入と支出についてまとめており、使用料収入で運営を賄っていない状況となっております。

6、利用者数の平均は、約 16 万人となっております。

7、リニューアルの状況ですが、概ね施設開設後、30 年前後に実施しており、主には展示室やプラネタリウムの更新となっております。

8、利用者からの要望についてでございますが、展示やプラネタリウム、施設の機能充実を求めるものが多いとのことでございます。

最後に 9、科学館を設置していない中核市 28 市にその理由を伺ったところ、同一県内に科学館を設置していることが主な理由として挙がっております。

○安東委員長

質疑等はありませんか。

○今山委員

資料の2ですけれども、各市がどういう状況なのかというのを見せてもらえますか。

○永田社会教育課長

基本的には、公表されているデータの部分については問題ないと考えております。

○安東委員長

そのほかないですか。

○安部委員

大分市は天文に特化した科学館という書き方で、この前も説明したと思うのだけれど、関崎海星館の進入道路はどういう経過になっていますか。

○永田社会教育課長

関崎海星館の進入道路につきましては、佐賀関循環線という県道になっておりますので、大分市のほうからは道路管理者である大分県に、いわゆる要望という形で整備については申し入れをさせていただいています。また、通常の維持管理の部分につきましては、大分土木事務所の担当課と、我々もしくは関崎海星館で直接やりとりさせていただきまして、例えば枝打ちでありますとか、路面が落ち葉等で汚れている場合は清掃を随時行っていく形をとっております。

○小野委員

陳情者からの科学館のアンケートはごらんになっていますか。

○永田社会教育課長

事務局から、こういうものをお配りしたということで、資料はいただいております。

○小野委員

その中に、大分がないので、久留米市や武雄市などに時間を見つけて行きますと書いているんですけど、この一覧を見ると佐賀県立というのは武雄市なのかなと思ったのですが、久留米市はないですね。

○永田社会教育課長

佐賀県立の所在地は武雄市でございます。

○小野委員

久留米市はないですね。

○永田社会教育課長

こちらのほうで伺ったとき、分類上の科学館はないと久留米市から回答いただいております。

○安東委員長

そのほかにないですか。

○大石委員

資料1で、全体的に見たときに、市がつくっている科学館の入場料は、その市の小中学生は無料なのか、県がつくっているところは、その県下の方は無料なのかどうかわかりますか。

○永田社会教育課長

全ての市に入場料についてはお伺いしております。ただ、金額等については回答をいただいておりますが、その市にお住まいの方であるとか、県内にお住まいの方は入場料を取っていないかどうかというのは確認ができておりません。

○大石委員

わかりました。

○安東委員長

そのほかないですか。

○大石委員

市町村でどこまで入場料を取っているか取っていないか、調査してもらえますか。

○永田社会教育課長

入場料そのものを取っているというのは確認しています。

○大石委員

取ってはいるのだけれども、市の小中学生は取っていないだとか。県の場合は、県下の方は取っていないだとかそういったものを。

○永田社会教育課長

1件、訂正をお願いいたします。久留米市から、県立の科学館があるということで回答をいただいておりますが、久留米市立ではなくて、福岡県立の科学館があるということです。

○安東委員長

そのほかないですか。

○エイジ委員

そもその話ですけれど、僕は科学館はあったほうがいいと思いますが、つくるに当たっての費用、それと費用対効果、その他もろもろ予算が発生してくると思うのですけれど、そういった費用のことを考えると、例えば具体的に話を進めていくとすれば、国や県からどれぐらいの補助があって、大分市がどれぐらい出せるのか、実際に維持管理していくのにどれぐらいのランニングコストがかかるのかとか、その辺もしっかりと検証ができていない状態だと思います。教育委員会としては、今ある関崎海星館を充実させていくべきなのか、こういったものが大分市に必要だと思われているのか。

○永田社会教育課長

これまでも議会の事務事業評価の中で、関崎海星館の機能の充実、拡充ということも言われております。我々としましても、まずは既存施設の整備を行うべきだという考え方を庁内の中では整理しておりますので、科学館として関崎海星館の整備に注力していきたいというのが現状でございます。

○今山委員

万一つくることになったときに、国から何か補助金が半額出るとか、そういうのはあるのですか。

○永田社会教育課長

以前は建設費に直接的な補助がございましたが、今は文部科学省のほうからそういうものはございません。ただ、国土交通省のほうから社会資本整備総合交付金の中で使える可能性がある交付金がございます。ただ、そうしたときでも補助率は最大3分の1でございます。

○小野委員

この中核市の科学館に関する照会・回答集計結果を見ると、科学館と一口に言っても、建設費とか延床面積とかを見ても、非常に幅広いなと思っているのですが、関崎海星館というどれくらいなのかというのを教えていただきたいです。

○永田社会教育課長

関崎海星館につきましては、開設年度が平成7年度です。延床面積で言いますと、682平米となります。建設費の総額が6億9,300万円でございます。現在は指定管理者が運営をいたしておりますが、運営にかかる経費につきましては、年間約2,750万円です。そのうち使用料収入につ

きましては162万8,000円でございます。昨年度の入場者数は、3万389人となっております。

○小野委員

わかりました。

○安東委員長

そのほか、いいですか。

○大石委員

今、大分市にいろいろ求められているんですけども、県の動きにこういった計画があるとかないとかいうのはわかりませんか。

○永田社会教育課長

実は今回の県議会のほうでも科学体験についての質問が出されておまして、県のほうがO-L a b oの、いわゆる機能の充実ということを言われております。以前から担当課のほうと情報交換する中で、県はまずはO-L a b oの機能の充実をさせていくというふうに言われております。

○安部委員

今、O-L a b oはどのくらいの規模あるんですか。

○永田社会教育課長

昨年度の実数で申しますと、5,865名の方が利用されております。

○安東委員長

それでは私から一つ。陳情で出ている総合的な科学館ですが、関崎海星館はそれに当てはまるんですか。

○永田社会教育課長

その点につきましては、これまでの委員会でもいろんな話がございましたときに、いわゆる天文に特化した科学館という位置づけで認識をされております。

○安東委員長

そのほかありませんか。

○エイジ委員

もう1点いいですか。今後はこの関崎海星館にもう少し天文以外のものを充実させていこうというような、そういった計画はありますか。

○永田社会教育課長

今年度の8月末までに関崎海星館の整備の基本構想をまとめております。その中でも、今後、展示等についてさらに工夫していくということになっておりますので、これまで以上に、天文だけではなく、海洋の部分でありますとか、町の歴史の部分、佐賀関には近くに大きな企業もございまして、特に産業の部分、そういう部分も連携しながら、展示等の工夫をしていくというものを構想の中でもうたわれておりますので、考えていきたいと思っております。

○安東委員長

そのほかありませんか。

〔「なし」の声〕

○安東委員長

では、1件ずつ討論に入りたいと思います。

まず1点目、平成29年陳情第17号、大分市への科学館設置に関する陳情についての討論をしたいと思いますが、討論はありませんか。

○エイジ委員

先ほどから、いろいろとまだ調査がされているというところで、我々もまだ名古屋の科学館のような大きなものしか見ておりませんし、大分市と同規模の人口、中核市で設置されている科学館を見たりして、いろんな部分を調査した上で判断するべきだと思いますので、継続審査がいいと思います。

○安東委員長

そのほかありませんか。

○小野委員

まだ判断材料に欠けるので、継続審査をお願いします。

○安東委員長

そのほかないですか。

○今山委員

継続審査をお願いします。

○安東委員長

ほかに。

○馬見塚委員

継続審査をお願いします。

○大石委員

継続審査をお願いします。

○松本副委員長

継続審査をお願いします。

○永松委員

みんなと一緒です。

○安東委員長

継続審査という意見を確認できました。継続審査でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕

○安東委員長

平成 29 年陳情第 17 号の大分市への科学館設置に関する陳情については、継続審査としたいと思います。

○安東委員長

それでは次の、平成 30 年陳情第 7 号、大分市に総合的な科学館設立を求める陳情について討論はありませんか。

○永松委員

継続審査です。

○エイジ委員

同じく継続審査です。

○安東委員長

それでは、同じく継続審査ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声〕